

デイリー・テクニヘッジ・フォレックス  
**Daily Techni-Hedge Forex : Wed. 6 Sep., 2017** 配信: 7 日

目次:

ドル円・短期日足：弱気中.....	2
ユーロ円・短期日足：買いシグナル点灯.....	3
ユーロドル・短期日足：強気中.....	3
豪ドル円・短期日足：弱気中.....	3
豪ドル米ドル・短期日足：強気中.....	4
ポンド円・短期日足：買いシグナル点灯.....	4
ポンドドル・短期日足：強気中.....	4
スイス円・短期日足：弱気中.....	5
ドルスイス・短期日足：弱気中.....	5
日経225 CME-Yen・短期日足：弱気中.....	5
スイス円・中期週足：売りシグナル点灯.....	6
日経225・中期週足：売りシグナル点灯.....	6
「New 2017」 テクニヘッジ ・ レポート v 11の読み方 (R170825) .....	8

為替市場ハイライト

●● 昨日の市況と今週のシグナル：（青色部分のみが新規報告の情報）

昨日 9 月 6 日水曜日の外国為替市場は小動き。

ドル円とクロス円は買い戻されたが小幅で、布陣が変わったのはユーロ円とポンド円の買いのみ。

ユーロとポンドは直近では買いが優勢で、局地的な調整だろう。

ドル円は弱気のままだった。

ドル円以外のドルストレートは動きが無かった。

今週のドルストレートは殆ど横這いにちかい。

市況は緊迫しているもののドル取引は様子見気配が強いと言える。

本日中間発表の週足中期観測であるが、スイス円と日経 225 に中期売りシグナルが点灯。

今週はまだ動きが小さく、消滅の可能性もある。

□□ 昨日の日足短期シグナル □□

(9 月 6 日)

ユーロ円・短期日足： 買いシグナル点灯

ポンド円・短期日足： 買いシグナル点灯

週足中期シグナル  週末に確定 (週足シグナルは週中消滅の可能性があり、週末確定までは単に参考情報です)

(9月6日)

スイス円・中期週足： 売りシグナル点灯

日経 225・中期週足： 売りシグナル点灯

9月足長期シグナル  月末に確定 (月足シグナルは市況次第で月内消滅の可能性がありますが)

8月足長期シグナル  月末確定分

(8月18日)

ポンドドル・長期月足： 売りシグナル点灯 (確定)

(8月11日)

ドル円・長期月足： 売りシグナル点灯 (確定)

豪ドル円・長期月足： 売りシグナル点灯 (確定)

ポンド円・長期月足： 売りシグナル点灯、追加 (確定)

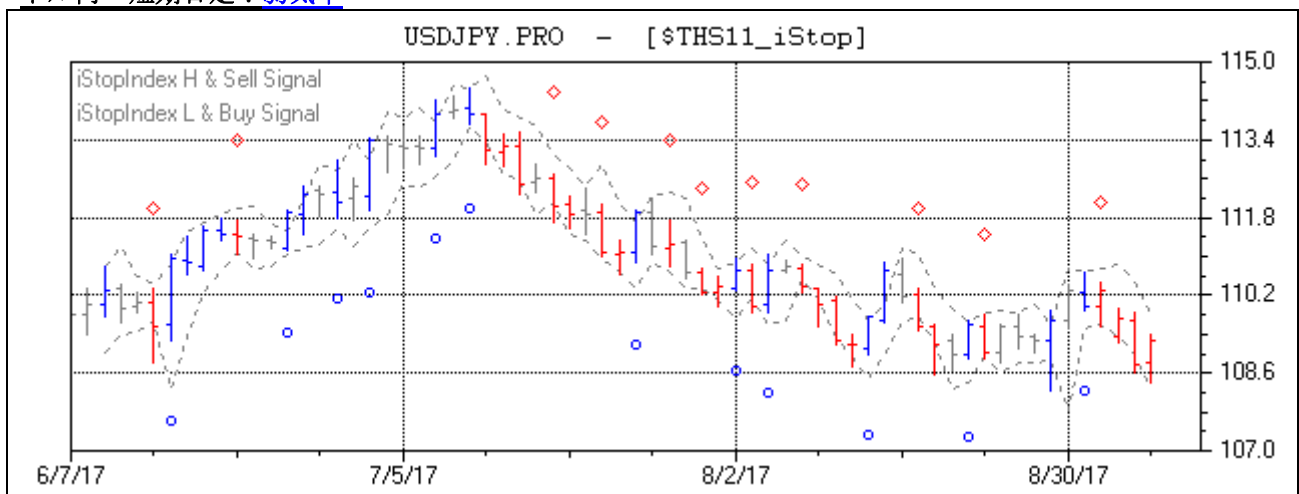
スイス円・長期月足： 売りシグナル点灯 (確定)

日経 225・長期月足： 売りシグナル点灯 (確定)

臨時掲載チャート：無し

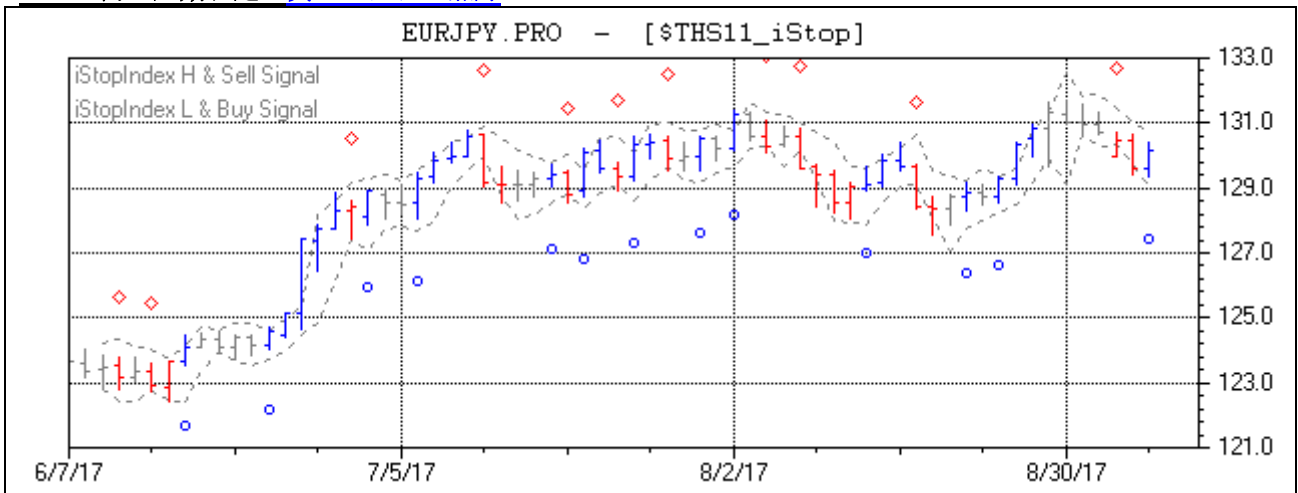
昨日の日足短期チャート

ドル円・短期日足：[弱気中](#)



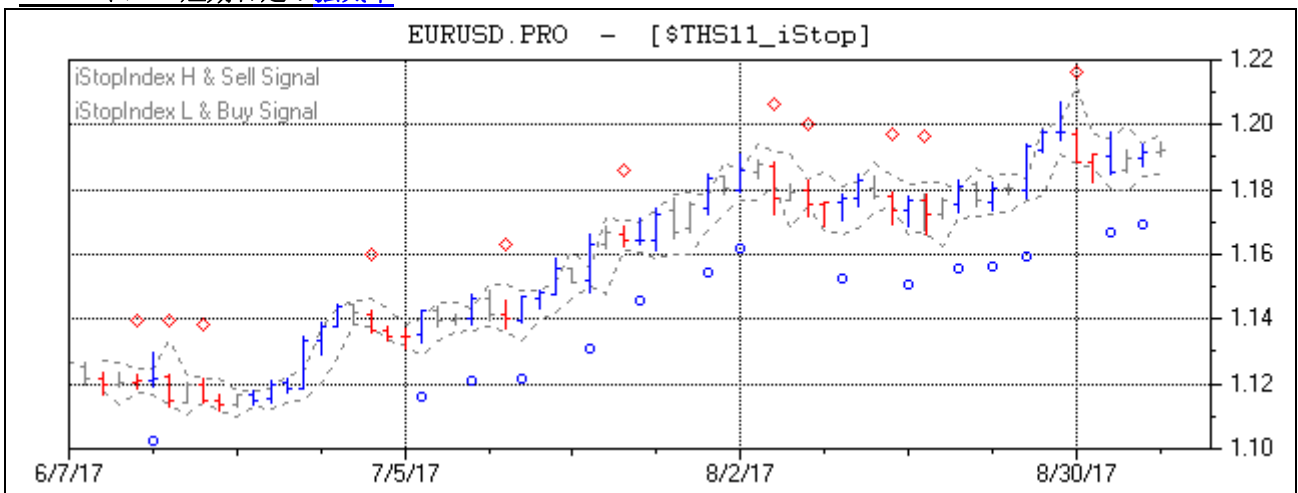
引け値：109.25。本日の買いストップ109.74。売りストップ108.29。

ユーロ円・短期日足：[買いシグナル点灯](#)



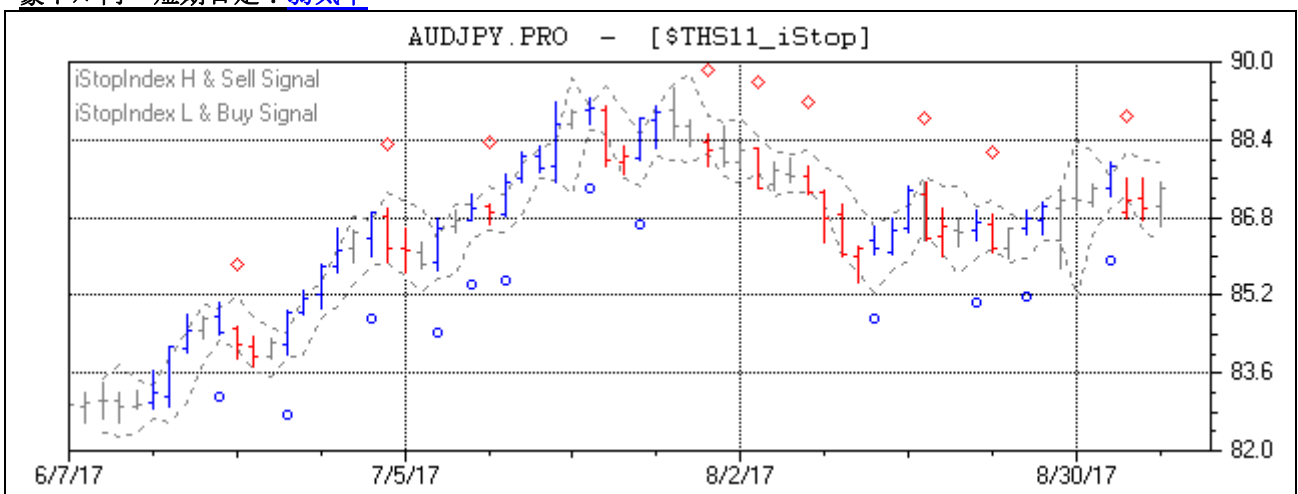
引け値：130.14。本日の買いストップ130.72。売りストップ129.20。

ユーロドル・短期日足：[強気中](#)

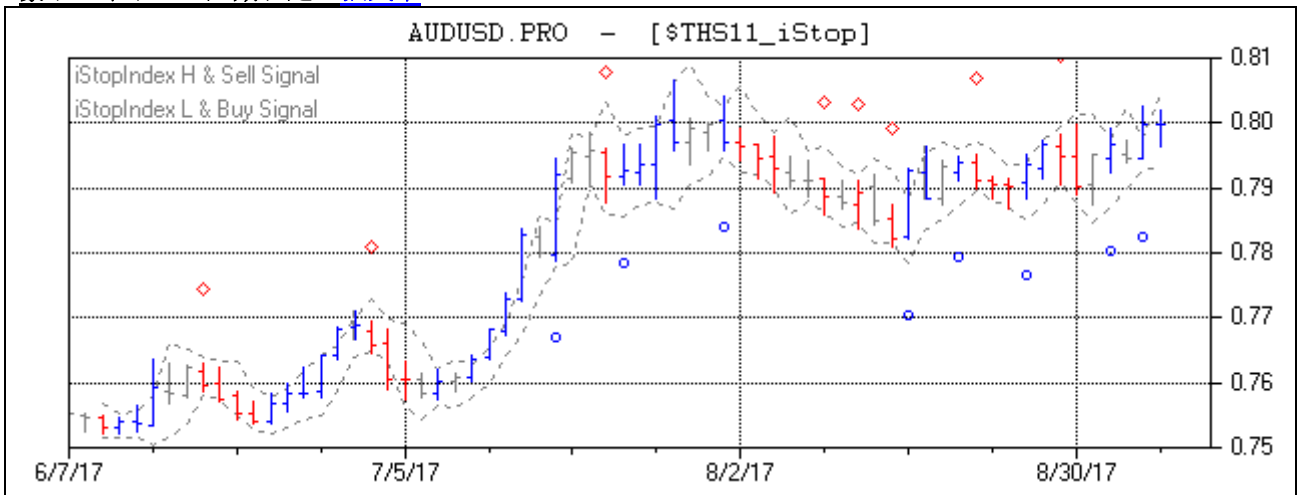


引け値：1.1919。本日の買いストップ1.1967。売りストップ1.1880。

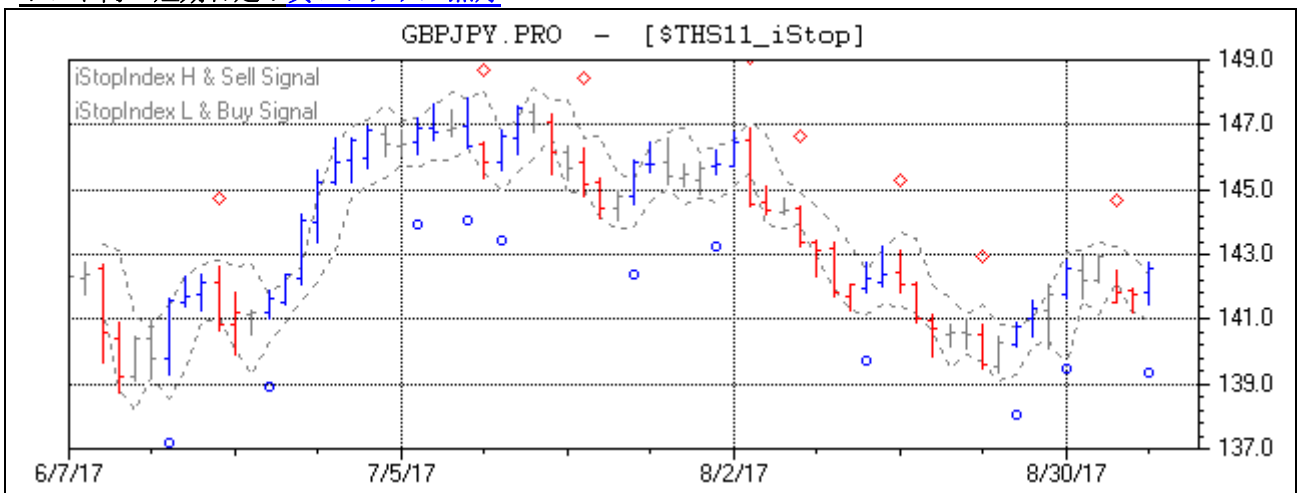
豪ドル円・短期日足：[弱気中](#)



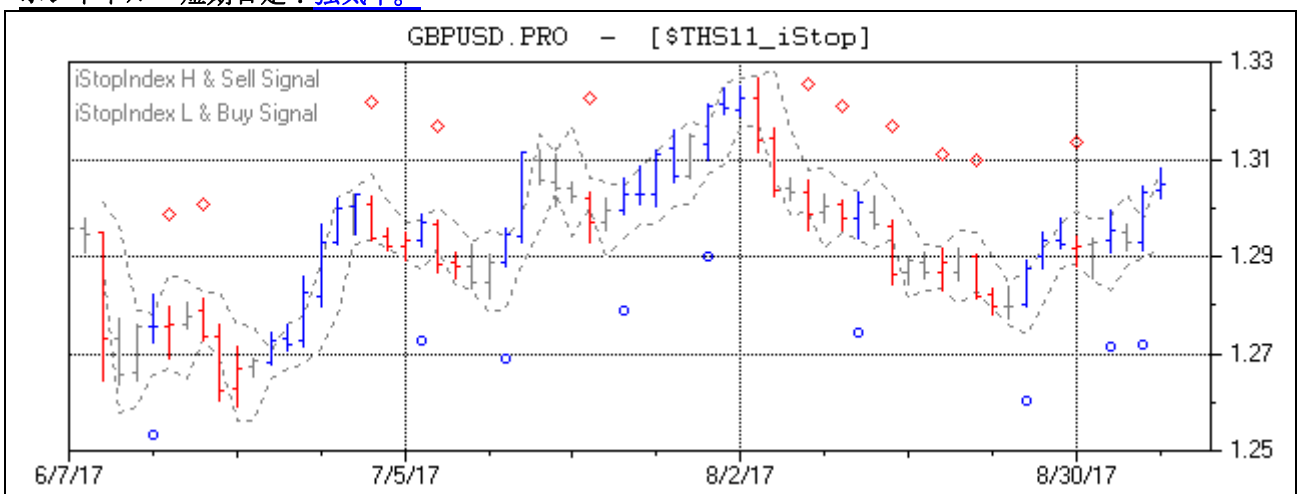
引け値：87.41。本日の買いストップ87.87。売りストップ86.48。

豪ドル米ドル・短期日足：強気中

引け値：0.7999。本日の買いストップ0.8050。売りストップ0.7940。

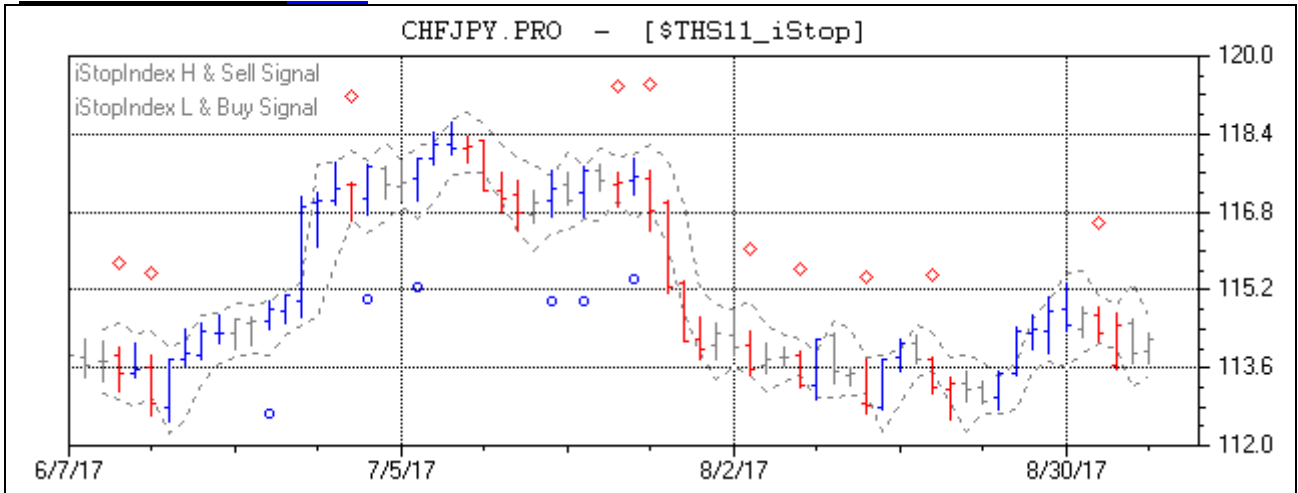
ポンド円・短期日足：買いシグナル点灯

引け値：142.59。本日の買いストップ143.14。売りストップ141.36。

ポンドドル・短期日足：強気中。

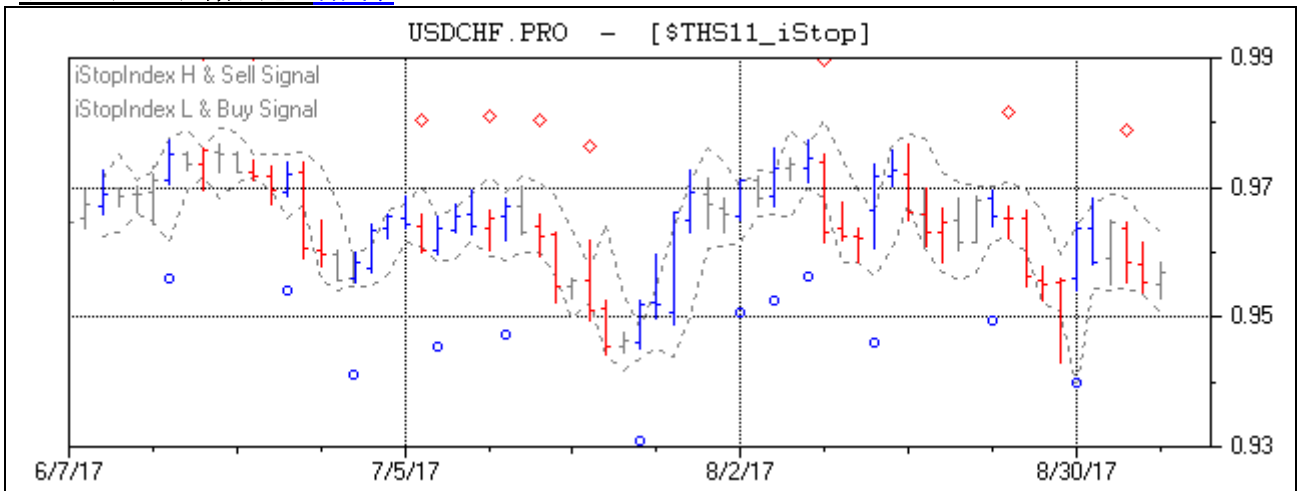
引け値：1.3047。本日の買いストップ1.3103。売りストップ1.2994。

スイス円・短期日足：弱気中



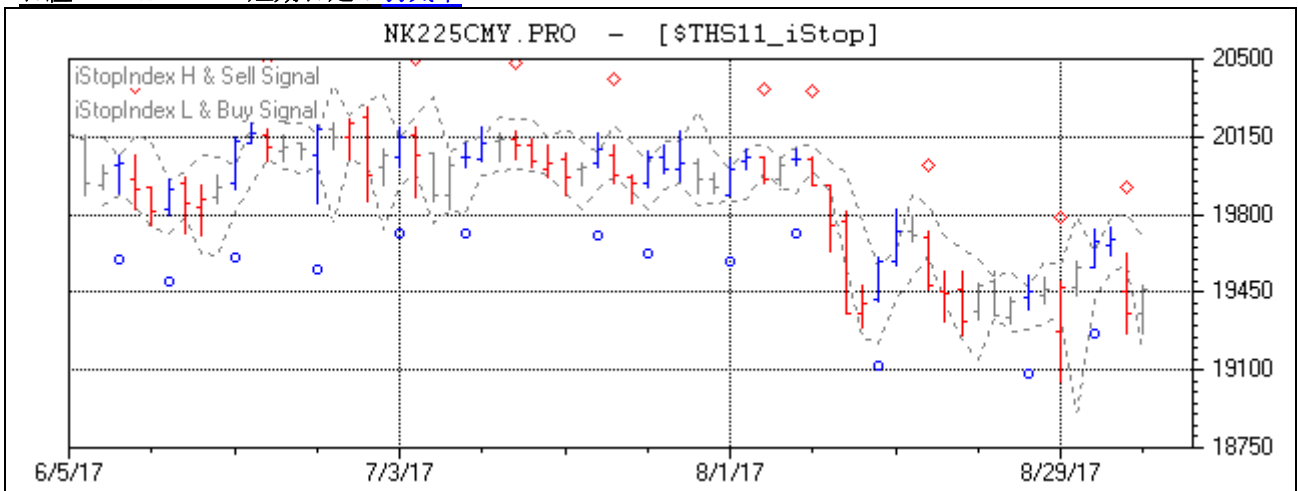
引け値：114.19。本日の買いストップ114.49。売りストップ113.61。

ドルスイス・短期日足：弱気中



引け値：0.9569。本日の買いストップ0.9606。売りストップ0.9513。

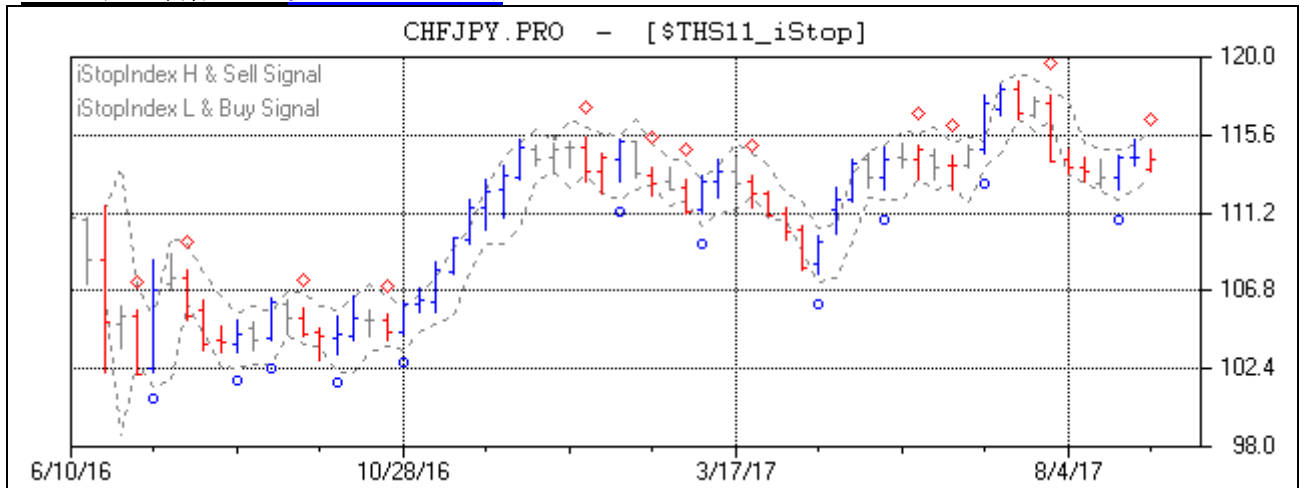
日経225 CME-Yen・短期日足：弱気中



引け値：19460。ストップ掲載は無し。

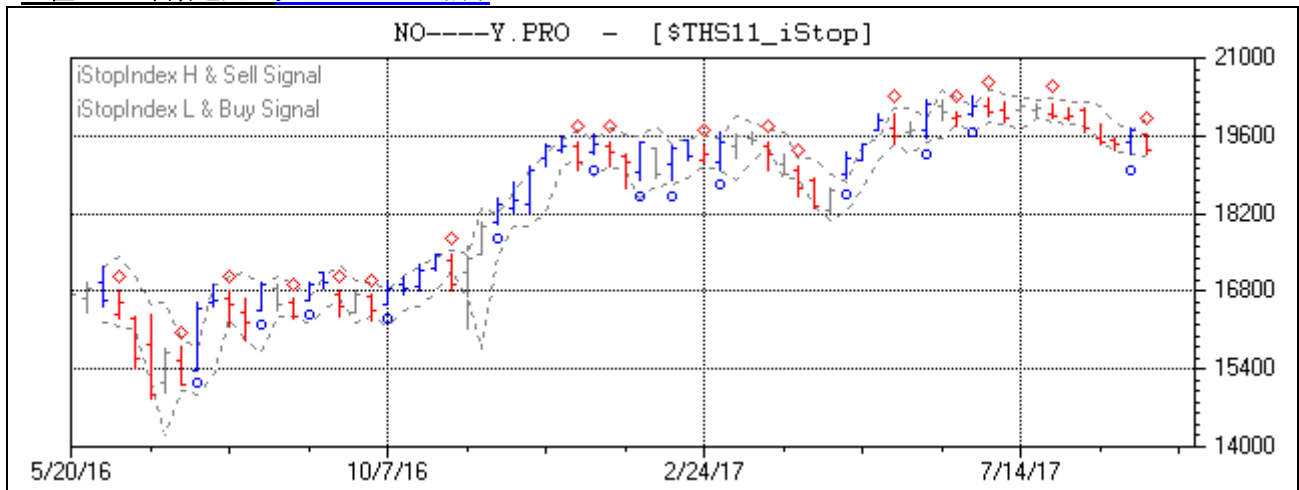
昨日点灯した中期シグナル、週末に確定 (週内消滅再点灯の可能性あり)

スイス円・中期週足：売りシグナル点灯



今週の買いストップ 115.94。売りストップ 113.09。

日経225・中期週足：売りシグナル点灯



今週の買いストップ 19905。売りストップ 19232。

昨日点灯した長期シグナル、月末に確定（月内消滅の可能性あり）

前週 Weekly 9月1日号の為替市場ハイライト・バックアップ

- ドル円・長期月足：売りシグナル点灯（確定）
- ドル円・中期週足：買いシグナル点灯
- ドル円・短期日足：売りシグナル点灯
- ユーロ円・長期月足：長期売りシグナル消滅、強気中（確定）
- ユーロ円・中期週足：買いシグナル点灯
- ユーロ円・短期日足：強気中
- ユーロドル・長期月足：強気中
- ユーロドル・中期週足：強気中

ユーロドル・短期日足：買いシグナル点灯  
 豪ドル円・長期月足：売りシグナル点灯（確定）  
 豪ドル円・中期週足：買いシグナル点灯  
 豪ドル円・短期日足：買いシグナル点灯、追加  
 豪ドル米ドル・長期月足：強気中  
 豪ドル米ドル・中期週足：買いシグナル点灯  
 豪ドル米ドル・短期日足：買いシグナル点灯  
 ポンド円・長期月足：売りシグナル点灯（確定）  
 ポンド円・中期週足：買いシグナル点灯  
 ポンド円・短期日足：強気中  
 ポンドドル・長期月足：売りシグナル点灯（確定）  
 ポンドドル・中期週足：買いシグナル点灯  
 ポンドドル・短期日足：買いシグナル点灯  
 スイス円・長期月足：売りシグナル点灯（確定）  
 スイス円・中期週足：強気中  
 スイス円・短期日足：売りシグナル点灯  
 ドルスイス・長期月足：弱気中  
 ドルスイス・中期週足：売りシグナル点灯、追加  
 ドルスイス・短期日足：強気中  
 日経・長期月足：売りシグナル点灯（確定）  
 日経・中期週足：買いシグナル点灯  
 日経 CME 取引所・短期日足：強気中

### ●● 先週の市況とシグナル：

先週はドル円クロス円が多数の中期買いシグナルを点灯しつつ上昇した。  
 北朝鮮のミサイル発射は有事の円買いにはならず、逆転して売りだった。  
 週末の核実験も今週初は恐らく同様の反応になるかと思われる。

一方木曜日に月末終了した長期 8 月足ではドル円クロス円には一斉に長期売りシグナルが確定しており、  
 この先ドル円クロス円は厳しい大幅の乱高下になるのではないかと想定する。

ドル円以外のドルストレートは概ね小幅の乱高下に終始したものが多く、足元の方向性が失われる傾向にある。

ドルストレートで解りやすいのはユーロドルの強気傾向だと考えられるが、先週は大幅に高値更新した後  
 反落して終了した。売りシグナルは出なかったが、この先乱高下になる可能性が高い。

□□ 先週中期シグナル □□ 週末確定分

(8月30日)

ドル円・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)  
 ユーロ円・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)  
 豪ドル円・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)  
 豪ドル米ドル・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)  
 ポンド円・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)  
 ポンドドル・中期週足： 買いシグナル点灯 (確定)

● [以上デイリー・レポート] スマートフォンやKindleによる閲覧用にレイアウトを適正化してあります。

## 「New 2017」テクニヘッジ・レポートv11の読み方 (R170825)

■ **前書き**：本レポートに使用されている取引システムは、オランダ田中カレンシーリスク・マネジメントが1991年頃から開発してきた市場取引タイミング決定の支援システムです。単一のユニバーサルシステムを全ての金融商品の全ての時間枠(月足、週足、日足、時間足)に適用してあります。所謂パラメータの個別適正化を必要しないユニークなシステムです。英語版と日本語版が欧日の著名金融機関、最大手輸出入企業、官公庁で使用されました。本レポートは、プロフェッショナル・リアルタイム稼働用新バージョンv11を、PDFメール配信用に簡易化したものです。外国為替と内外株式以外にも内外債券、商品市場の全ての日足データ1300銘柄を揃えてあります。

■ **売買シグナル**：バー・チャート上のバーの上部に表記されたダイヤモンド印は「売りシグナル」です。バーの下部に表記された丸印は「買いシグナル」です。「**売りシグナル**」にて「買いから売りに転換」を認識します。「**買いシグナル**」にて買い転換を認識します。

売買シグナルはリアルタイムでは引け時ではなく随時に点灯します。例えば寄り付きで早期点灯することもあります。メール配信版では点灯した日足の翌日にレポート配信され、次のバーでそのシグナルを執行します。たとえば昨日の日足に買いシグナルが点灯した場合、本日の東京市場朝方に注文を執行します。理論的にはオセアニア寄り付き時間(東京時間未明)に執行しますが、本邦使用者はレポートが配信された後の東京午前中に執行することになります。主要5通貨を「オセアニア寄り付き」と「東京寄り付き(朝9時)」で比較調査した結果では、長い目では特に顕著な誤差が無く、どちらが有利という結論も出ませんでした。ドル円の場合は東京寄り付き執行の方が少し有利でした。

■ **バーの強気、弱気着色**：「**強気(買い)、弱気(売り)の区別**」は全てのバーの着色によっても表示されます。「**青色バー**」は強気、「**赤色バー**」は弱気として着色されます。さらに過去の版(10以前)において個別バーではピンポイント判定できなかった「**ニュートラル・バー**」をグレーで着色してあります。ニュートラル・バーはそのバーだけでは強気とも弱気とも判定し難いので、それまでの強気もしくは弱気を継続します。実は市場変動の大半は強弱判定しがたいのが真の姿であり、ニュートラル認識を導入することは重大かつ非常に大きなメリットです。さらに、副次的にニュートラル・バーで随意的の利食いをする事など他の自由応用が考えられます。

■ **売買ストップ**：プロの投資家にとっても非常に設定が難しいとされるポジション逆転ストップ値(乃至は損切り利切りストップ値)を掲載しています。例えば強気買いポジションを保持しているドル円が、ある日想定外の原因に直撃されてその日の引け時までに105円から100円まで大暴落したとします。リアルタイムでシステムを常時モニターしている場合には、例えば104円まで下落したタイミングで売りシグナルがその該当バー上に点灯して強気買いポジションを弱気売り転換することが出来ます。しかし個人投資家向けデイリー・メール・レポート版では翌日の朝方既に100円まで暴落してしまった時点でしかそれを知ることが出来ません。これに対抗する防衛手段として、事前に売りストップ値を知り、発注しておくことが可能です。

「**株価指数の売買ストップ**」全ての株価指数は先物と明示されていない限りキャッシュ株価指数です。表示されたストップをそのまま先物取引やCFD取引に適用する事は出来ません。日経225日足のみは東京時間ではなくシカゴCME先物を掲載しております。

「**利食い**」優れた利食いをシステムチックに導入することで飛躍的に取引収益特性を向上させることが出来ます。

参考リンク：<http://sec.himawari-group.co.jp/systemtrade/knowledge/tanaka-tadashi/> の第4部及び第5部でこの問題(損切りと利食い)を詳説してあります。本レポートは取引システムの情報ではなく、タイミング決定支援ツールとしてインディケーターとストップ情報の提供を目的としており利食い情報は提供していません。必要な場合はご相談下さい。

■ **チャートと時間枠の読み方**：「**短期日足シグナル**」：毎日の短期市況認識に適しています。毎日発注できる方に適しています。時間足取引者は時間足を支配している短期日足傾向を知ることが出来ます。

「**中期週足シグナル**」：数週間から数ヶ月の中期市況認識に基づき週初に注文を出すことの出来る方に適しています。日足取



引者は、中期分析を参照することにより、日足の動きを支配している中期傾向を知ることが出来ます。

「**長期月足シグナル**」：半年から1年の長期時間枠で市況を判定する事を目的とし、月初に注文を出すことが出来る取引者に適しています。シグナルの精度も高いと考えられます。

■ **システム取引の限界**：レポートに提示されたシグナルとストップだけで、通貨取引の全てが解決するわけではありません。本レポートの目的は取引収益達成に係る個々のアドバイスを行う事では無く、通常の間人よりは勝る数学的意思決定支援モデルの計算結果を参照していただくことにあります。また、個々の問題解決やご質問の直接回答はプロフェッショナル版以外では行っておりません。

外国為替テクニヘッジ・レポートは、投資判断の参考となるシステム情報の計算結果提供を目的としたものです。売買の決定は読者ご自身の判断でなされるものです。テクニヘッジ・レポートのいかなる部分も一切の権利は 田中 雅に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で引用、複製または転送などいかなる目的であれ、無断で引用、複製または転送などを行うことを法律にて禁じられています。